

新任職員採用時研修のご案内

事故防止対策の基本知識と 介護職員が守るべきルール

新任職員のみなさま、入社おめでとうございます。介護職員になったら最初の覚えなければならないのは、利用者の安全を守る活動、すなわち介護事故の防止活動です。利用者の生活を援助すると転倒など避けられない事故が起きますから、防ぐべき事故を区別して防がなければなりません。そして、もう一つ大切なことは「介護職員として守るべき安全ルールと行動のルールです。ルール違反をすれば必ず罰則がありますから、ルールを覚えて守らなければなりません。みなさまが、介護職員として働くための必須の知識ですので、しっかり覚えてください。

動画セミナーの概要

■研修の目的

第1部として介護の事故防止活動を進めるに当たって必要な基本知識を学びます。介護の事故防止活動では、防ぐべき事故と防げない事故を区別することが重要です。次に、介護職員として守るべき安全のルールを学びます。ルール違反で重大事故を起こすと大きな罰則があることを覚えてください。最後に守るべき行動のルールを覚えて、介護職員に相応しい行動ができるようにします。

《第1部》事故防止活動の基本知識

1. 介護の事故防止活動の考え方
2. 事故防止活動の進め方
3. 事故発生時の対応

《第2部》守るべきルール

1. 安全な介護のルール
2. 介護職員の行動のルール

講師プロフィール

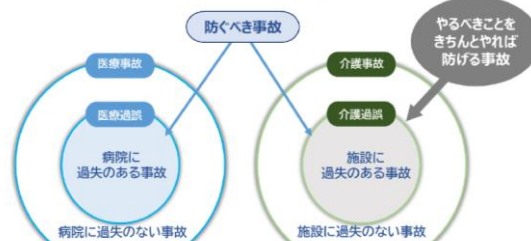
川村亜希 短大卒業と同時に特別養護老人ホームに入社。訪問介護事業所サービス提供責任者、特別養護老人ホーム生活相談員・介護支援専門員を経て、現在湘南医療福祉専門学校教員・社会福祉法人育成会研修センターのセンター長。2018年より株式会社安全な介護リスクコンサルタント。介護職員や生活相談員の実務経験と介護福祉専門学校教師の視点で語る、ユーモアと共感性溢れる講義は秀逸と好評。

2. 防ぐべき事故を明確にしよう

全ての事故は防げない ➡ 事故はゼロにならない

防ぐべき事故と防げない事故に区分し
防ぐべき事故に防止対策を講じる

介護事故防止活動
の原点



こんな行為はルール違反です

《事例13》入浴介助中に浴室を離れる



➡浴室に戻ったら浴槽で溺れていた！

動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 mail:soudan@nanasha.co.jp